

第13回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー 実践発表一覧表

教室名	神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学							
	11号館2階 112A教室				11号館2階 112C教室				11号館3階 113A教室				11号館3階 113B教室				11号館3階 113C教室				11号館4階 114A教室			
発表時間	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番				
12:00～12:25	第4	洛和ヴィラ桃山	京都府	4-1	第2	一本松荘	熊本県	2-1	第1	サンライフ御立	兵庫県	1-1	第1	ゆうらぎ	兵庫県	1-11	第1	グレイスフル浅山	愛知県	1-20	第9	ジョイフル名駅	愛知県	9-1
12:25～12:50		結いの郷	愛知県	4-2		ジョイフル各務原	岐阜県	2-2		老楽園	岩手県	1-2		リハリゾート青葉 ユニット館	神奈川県	1-12		健生園	岡山県	1-21		千鳥会ゴールド	兵庫県	9-2
12:50～13:15		大宮フロイデドルフ	茨城県	4-3		おおみや苑	京都府	2-3		洛和ヴィラ桃山	京都府	1-3		西ノ京苑・栄寿	奈良県	1-13		アネシス兵庫	兵庫県	1-22		第2ジョイフル江南	愛知県	9-3
13:15～13:40		リハリゾート青葉	神奈川県	4-4		洛和ヴィラ大山崎	京都府	2-4		グレイスフル上前津	愛知県	1-4		わかたけ青葉	神奈川県	1-14		ビハーラ十条	京都府	1-23		博愛の園	大阪府	9-4
13:40～14:05		ほほえみ福寿の家	岐阜県	4-5		ナーシングケア加納	岐阜県	2-5		ビハーラ十条	京都府	1-5		ありすの杜きのこ南麻布	東京都	1-15		慶和園	北海道	1-24		ジョイフル千種	愛知県	9-5
14:05～14:20	休 憩				休 憩				休 憩				休 憩				休 憩							
14:20～14:45	第4	ビハーラ十条	京都府	4-6	第4	たぶのき	福井県	4-13	第1	あんり	大阪府	1-6	第1	健生園	岡山県	1-16	第1	和里(にこり)	奈良県	1-25	第9	西ノ京苑・栄寿	奈良県	9-6
14:45～15:10		ひろいしの里	兵庫県	4-7		三豊市立西香川病院	香川県	4-14		リハリゾート青葉	神奈川県	1-7		防府あかり園	山口県	1-17		花いずみ	岩手県	1-26		グレイスフル熱田	愛知県	9-7
15:10～15:35		きのこ荘	岡山県	4-8		鴻池荘サテライト蜻蛉	奈良県	4-15		光寿苑	岩手県	1-8		朝陽ヶ丘荘	兵庫県	1-18		第二丹後園	京都府	1-27		ジョイフル名駅	愛知県	9-8
15:35～16:00		西ノ京苑・栄寿	奈良県	4-9		ひかりの園	熊本県	4-16		グレイスフル上前津	愛知県	1-9		ビハーラ十条	京都府	1-19		チブサン荘	熊本県	1-28		第2サンライフ江南	愛知県	9-9
16:00～16:25		防府あかり園	山口県	4-10		五十鈴荘、いちがお園、丹後園、第二丹後園、満寿園(養護、特養)、虹ヶ丘、おおみや苑	京都府	4-17		宝塚まどか園	兵庫県	1-10						ソエル花泉	岩手県	1-29		HOME TOWN コスモス	福井県	9-10
16:25～16:40	休 憩				休 憩				休 憩				休 憩				休 憩							
16:40～17:05	第4	ひかりの園	熊本県	4-11	第4	上士幌すずらん荘	北海道	4-18	第8	扇の森	埼玉県	8-1					第10	松楽苑	島根県	10-1	第9	ジョイフル千種	愛知県	9-11
17:05～17:30		L-CUB 八山田	福島県	4-12		ぬくもりの里 あおえ	岡山県	4-19										中部台ケアセンター	岐阜県	9-12				
17:30～17:55																		ジョイフル各務原	岐阜県	9-13				

教室名	神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学				神戸学院大学							
	11号館4階 114B教室				11号館4階 114C教室				11号館5階 115A教室				15号館1階 151M教室				15号館1階 151I教室							
発表時間	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番	部門	発表施設		順番				
12:00～12:25	第7	第三光が丘ハウス	福井県	7-1	第7	博愛の園	大阪府	7-13	第3	中山ちどり	兵庫県	3-1	第5	フラワーホーム	鹿児島県	5-1	第6	ビハーラ十条	京都府	6-1	第6	さわの風	滋賀県	6-10
12:25～12:50		ぬく森	愛知県	7-2		洛和ヴィラアエル	京都府	7-14		ハーモニーハウス	福島県	3-2		三豊市立西香川病院	香川県	5-2		第二鹿児の郷	兵庫県	6-2		いこいの杜	鳥取県	6-11
12:50～13:15		ぽぷら	滋賀県	7-3		エレガントたつるはま	石川県	7-15		大地の丘	愛知県	3-3		ジョイフル砂田橋	愛知県	5-3		ありすの杜きのこ南麻布	東京都	6-3		三豊市立西香川病院	香川県	6-12
13:15～13:40		北勝園	茨城県	7-4		伊賀ゆめが丘	三重県	7-16		さわらび	長野県	3-4		神の園	京都府	5-4		いやさか苑	兵庫県	6-4		和里(にこり)	奈良県	6-13
13:40～14:05		エパーグリーン	岐阜県	7-5		野田の郷	鹿児島県	7-17		アザレアンさなだ	長野県	3-5		聖家族の家	福岡県	5-5		五色・サルビアホール	兵庫県	6-5		健生園	岡山県	6-14
14:05～14:20	休 憩				休 憩				休 憩				休 憩				休 憩							
14:20～14:45	第7	五色・サルビアホール	兵庫県	7-6	第7	いちがお園	京都府	7-18	第3	おおみや苑	京都府	3-6	第5	大宮フロイデドルフ	茨城県	5-6	第6	グレイスフル熱田	愛知県	6-6	第6	フランセーズ悠さかえ	長野県	6-15
14:45～15:10		寿光荘	岩手県	7-7		清州の里	愛知県	7-19		ジョイフル名駅	愛知県	3-7		大地の丘	愛知県	5-7		御前山フロイデガルテン	茨城県	6-7		上士幌すずらん荘	北海道	6-16
15:10～15:35		洛和ヴィラサラサ	東京都	7-8		三豊市立西香川病院	香川県	7-20		神の園	京都府	3-8		ウェル青葉	滋賀県	5-8		エパーグリーン	岐阜県	6-8		健生園	岡山県	6-17
15:35～16:00		三豊市立西香川病院	香川県	7-9		上士幌すずらん荘	北海道	7-21		ほほえみ	兵庫県	3-9		洛和ヴィライリオス	京都府	5-9		博愛の園	大阪府	6-9				
16:00～16:25		第2ジョイフル江南	愛知県	7-10		和里(にこり)	奈良県	7-22						片貝ヴィーラ	富山県	5-10								
16:25～16:40	休 憩				休 憩				休 憩				休 憩				休 憩							
16:40～17:05	第7	サンビレッジ新生苑	岐阜県	7-11	第7	神の園	京都府	7-23					第5	博愛の園	大阪府	5-11	第5	たじま荘	兵庫県	5-13				
17:05～17:30		第2ジョイフル江南	愛知県	7-12		笑寿苑	島根県	7-24						高寿園	大阪府	5-12		洛和ヴィラ南麻布	東京都	5-14				
17:30～17:55																								

第1部門: 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

第2部門: 一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

第3部門: “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

第4部門: これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

第5部門: 介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

第6部門: ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

第7部門: 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

第8部門: リーダーや管理者、その悩みと改革への取り組み

第9部門: ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

第10部門: 災害に備える・取り組む―施設の姿勢や地域との関わり方

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

神戸学院大学 11号館3階 113A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(既存)	サンライフ御立	兵庫県	
		転倒・転落事故件数の減少			
転倒、転落の事故件数が多い状況の中、利用者様にとってより安全で安心できる生活を送って頂くためにはどうすればいいかを、職員で考えていきました。					
12:25～12:50	②	ケアハウス	老楽園	岩手県	
		「ねえちゃんでいがったな。」-ありのままを受け入れたい-			
生涯担当として何が出来るのか。 日々刻々と変化する御本人の状態を遠方に住んでいる御家族と共に情報共有をし課題と向き合った実践報告をいたします。					
12:50～13:15	③	短期入所	洛和ヴィラ桃山	京都府	
		「また利用したいショートステイ」を目指して			
「また利用したいショートステイ」を目指し、利用者や家族の思いを引き出すことにした。そこから個々に合った楽しみ、余暇活動の充実に向けて取り組んだ内容とみてきた課題や成果について報告する。					
13:15～13:40	④	介護付有料老人ホーム	グレイスフル上前津	愛知県	
		ヘルシーエイジングの活用による業務の効率化			
歳をとってもいつまでも元気に過ごして頂く為に「ヘルシーエイジング」の活動を行っている。その中で、ヘルシーエイジングで利用者様が集まっている時間に他の職員が間接業務を行い、時間を有効活用できないかと考え、今回、取り組みを行った。					
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府	
		胃瘻の方との関わり方で私ができること			
普段居室にて過ごしておられ、職員が関わるとなると注入の際に少し話しかけ、すぐに他の業務に戻るとい関わりで本当に良いのか？という思いから自分がその方に何ができるのか考え実践したこと。					
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	あんり	大阪府	
		全スタッフがユニットケアを理解し実践していく為に!			
・ユニット推進委員会の立ち上げ ・ユニットリーダー研修参加職員による研修会 ・各ユニットごとの発表 ・各ユニットごとの取り組みについての話し合い(どの様な事がしたいか？又出来るのか？) ・推進委員による外部施設見学 目標:ユニットリーダー研修受入れ施設にする。					
14:45～15:10	⑦	老健	リハリゾート青葉	神奈川県	
		認知症高齢者の個別ケア			
私達のできることは何か、また個別ケア中心の特化型フロアとして取り組んだ事、気づきを発表します。					
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	光寿苑	岩手県	
		光寿苑「男組」発足について			
共に少数派である男性利用者と男性職員が、お世話する側・される側という枠を超えて、同じ男同士、平坦に見える日々の中にある楽しみや生きる意味を一緒に探していきたい。「男組」が今、動き出す・・。					
15:35～16:00	⑨	介護老人福祉施設	グレイスフル上前津	愛知県	
		元気に！楽しく！生き生きと！ ～レクリエーションの充実を目指して～			
レクリエーションの充実を図る為に、個別の要望を聞く事から始め、業務全体の「業務改善」を行いながら、レクリエーション実施の体制作りに努めた。					
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	宝塚まどか園	兵庫県	
		自力でトイレに行かれる方への排泄ケア			
最近 失禁が増えた方に対する排泄ケアの取り組み。					

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

神戸学院大学 11号館3階 113B講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ	
		発表テーマ				
		発表の概要				
12:00～12:25	①	介護老人福祉施設	ゆうらぎ	兵庫県		
		地域の高校との交流、共同での取り組みについて				
		地域の人々との交流に希薄さを感じていた時、ある高校生との出会いをきっかけに“施設と高校”という繋がりが生まれた。その中で、ご利用者の快適な環境への取り組みについての発表。				
12:25～12:50	②	老健	リハビリゾート青葉 ユニット館	神奈川県		
		こんな事でもユニットケアなんだね！				
		ユニットケアとはどんな事をすれば良いのか？まずはそこからのスタートでした。ユニットのケアスタッフみんなで話し合い、一步一步少しでも前進していくケアや取り組みを実践しています。				
12:50～13:15	③	特養(新型)	西ノ京苑・栄寿	奈良県		
		「ここに来て良かった」そう思って頂ける為に…				
		ショートステイで聞かれる「暇だ」との声。その声を何とかしたくて、少しでも「楽しかった」「ここに来て良かった」そう思って頂ける為に始めたアクティビティーや交流の場への取り組みとは何か。				
13:15～13:40	④	特養(新型)	わかたけ青葉	神奈川県		
		ショートステイでのユニットケア導入 ～現在までの取り組み～				
		暮らしの継続となる様な家庭的な要素を求めている方・非日常的な刺激やおもてなしの要素を求めている方等ニーズは様々でありそれらを24hシートに盛り込み日々のケアに活かしている。				
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	ありすの杜きのこ南麻布	東京都		
		K氏との関わりで学んだこと				
		感情の起伏の激しいKさんとの関わりで学んだことを発表します。				
14:05～14:20		休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(既存)	健生園	岡山県		
		難治性褥瘡と診断されてから完治に至るまでの道のり				
		以前は褥瘡=介護・看護の恥と言われていた。今回難治性褥瘡と診断された方の完治に至るまでの2年間について実践を通して学んだ事を発表する。				
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	防府あかり園	山口県		
		新人職員の一年の道のり ～苦悩の中から見えてきたこと～				
		新人職員が入社する前に介護に対して思っていたことが、実際に介護の仕事を始めてからどのように変化したのか、仕事を行っている上で感じた課題とその対応について。				
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	朝陽ヶ丘荘	兵庫県		
		認知症ケアの取り組み～Kさんの事例から～				
		認知症のKさんが入所当初の混乱から落ち着きを取り戻されるまでを振り返り、認知症ケアのあり方について考えたことを発表します。				
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府		
		胃瘻のお客様への接し方				
		居室で寝たきりになってしまう胃ろうのお客様の生活に刺激を与えたいと思い、少量ずつ経口摂取を行いました。実際に行って出た問題を改善していき、経口摂取を生活の楽しみの1つにしていきたいです。				

第1部門 私たちがはじめた、一人ひとりをたいせつにするケアの取り組みで変わった施設ケア(初級編)

神戸学院大学 11号館3階 113C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ	
		発表テーマ				
		発表の概要				
12:00～12:25	①	小規模多機能型居宅介護	グレイスフル浅山	愛知県		
		農園作業を通して、地域貢献と利用者様の役割の発見を目指す				
		施設内に完成した畑で利用者様と地域の方が一緒になり農作物を育て収穫。その過程の中で、利用者様は「継続性のある楽しみの確保」と「歩行、活動の機会の増加」の成果があり、地域の方や子供たちとの交流が出来た。				
12:25～12:50	②	特養(既存)	健生園	岡山県		
		メリハリのある生活 ～その人らしさを引き出すために～				
		健生園に来られてから今までの事、生活を通して気付かされた事や学んだ事を事例を通して報告させて頂く。				
12:50～13:15	③	老健	アネシス兵庫	兵庫県		
		バリデーションを使ったコミュニケーション				
		不安をかかえた方に対するケアへの取り組み。				
13:15～13:40	④	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府		
		寝たきりのお客様のケア—今の現状と気づき—				
		お客様の骨折を機にユニットで考えるようになったケアの仕方、今の現状、見えてきたこと、これからの課題。				
13:40～14:05	⑤	地域密着型特養	ユニットケア慶和園	北海道		
		よろこびの「わ」 京極ユニットの取り組み				
		ご利用者と職員、ご家族と職員、が深く関われる取り組みとして、ユニット行事(誕生日企画、季節に合わせた食事会など)を実践しています。その一部をご紹介します。				
14:05～14:20		休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県		
		浣腸なしで苦痛のない生活を～アロエで浣腸ゼロへ～				
		101歳になられる方の残りの人生は少しでも苦痛のない生活を送っていただきたいという思いがあり、この取り組みを始める。この方は人よりも腸が長い便がたまりやすく、便秘が続くことで腸がねじれてしまうので便を体内に溜め込んではいけないことから、排便なし3日目で浣腸をされている。浣腸を行うことで体力を使い果たし、いつも出来ている自分で食べる事やトイレで立つ事、歌を唄ったり他者との会話を楽しむ事が出来なくなっている。自然排便が出来る様になれば、より充実した生活を送っていただけるのではないかと考えた。				
14:45～15:10	⑦	地域密着型特養	花いずみ	岩手県		
		大好きなラーメンをいつまでも				
		2011.3.11.の東日本大震災、そして運営法人の変更。病室の環境を生活の場へ。その中で気づかされたKさんの関り方を報告します。				
15:10～15:35	⑧	特養(新型)	第二丹後園	京都府		
		みんな一緒に楽しい生活！				
		介護保険施設での短期入所事業と一緒に障害の方々の短期入所事業を開始してる年が経過しました。一緒に過ごした3年間の中で高齢者、障害者双方にとって良い相乗効果を生んだ取り組みについて発表します。				
15:35～16:00	⑨	特養(既存)	チブサン荘	熊本県		
		「心やすらぐ めぐもりある暮らし」とは				
		一人ひとりを大切にするために、私達はどう取り組んだか、取り組んだことで見えてきたことを、事例を混じえての報告。				
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	ソエル花泉	岩手県		
		Sさんから学んだこと、よりそい共に過ごした日々				
		Sさんが入院された時、食事が食べられず退院許可がなかなか下りなかったが、職員が見舞に伺い、その後退院につながった。私達に喜び、やりがい、自信を与えてくれたSさんとの出会いについて発表します。				

第2部門 一人ひとりへの3大介護のあり方とその工夫(基礎編)

神戸学院大学 11号館2階 112C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(既存)	一本松荘	熊本県	
		一本松荘『排泄大改革』			
		オムツ内の不快感が減り快適に過ごして頂く為、個々に合ったオムツ選びから始まりオムツの品質、コストを考え勉強会を開催。排泄ケアを一から見直す形となり職員が今一つになって快適さを求め試行錯誤を重ねた日々。			
12:25～12:50	②	特養(新型)	ジョイフル各務原	岐阜県	
		利用者に適した排泄を目指して			
		個別の排泄パターンの把握、自然排便に対しての取り組みを通し職員の意識を高め、同時にオムツコスト削減にも取り組んだ。			
12:50～13:15	③	特養(既存)	おおみや苑	京都府	
		生活リズムを整える。			
		水分摂取と排便管理を徹底する事によって生活リズムが整い活動性が高まってきた、その一例を紹介させていただきます。			
13:15～13:40	④	特養(新型)	洛和ヴィラ大山崎	京都府	
		入浴拒否から実施まで～カンファレンスと関わりの重要性～			
		入所時から、入浴を強く嫌がっていたA氏に対し、1年がかりで様々なアプローチを試みた結果、自ら浴槽を跨いで入浴できるまでになった。その経過から得ることのできた学び、気づきを報告する。			
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	ナーシングケア加納	岐阜県	
		機械浴から個浴への移行でのんびり“湯”ったりと開設2年目のchallenge!!～			
		入居者の楽しみのひとつである入浴。職員都合で機械浴となっていないか。自宅での生活同様に、個浴でゆったりと入らせてあげたい。入居者に尊厳をもってケアがしたい。という思いから、開設2年目のチャレンジとして実践をした。			

第3部門 “食”の工夫で目指す、その人らしい豊かな暮らし

神戸学院大学 11号館5階 115A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ	
		発表テーマ				
		発表の概要				
12:00～12:25	①	特養(新型)	中山ちどり	兵庫県		
		食の面からその人らしさをめざす～中山ちどりでの取り組み～				
		生活の基盤ともなる食の面から、いかにその方の今までの生活に近づけ、その方にあった食事を提供できるか、またどのようにすれば食に興味を持ち、楽しんでもらえるのか、中山ちどりでの様々な取り組みを紹介します。				
12:25～12:50	②	特養(新型)	ハーモニーハウス	福島県		
		お客様から『またくいつち～なあ～』の言葉を頂くために！				
		食は単なる栄養素の補給だけでなく、その営みから会話や交流が生まれ、おいしく味わえる事で心の栄養も満たしてくれる。ユニット調理、スイーツバイキング、プチ屋台など、全職種総出の大奮闘記をここに紹介する。				
12:50～13:15	③	特養(新型)	大地の丘	愛知県		
		口から食べられる喜びをもう一度 経管栄養から経口摂取へ				
		経管栄養を嫌がり、もう一度「食べたい」と言う思いを大切に。 経管栄養から経口摂取へ移行した取り組みについて発表します。				
13:15～13:40	④	特養(既存)	さわらび	長野県		
		その方が望まれる食事とは～思いを形に～				
		歳を重ねるにつれて、好きなものを召し上がれなくなる利用者様へ、日々希望を持ち過ぎて頂くためのアプローチとして、栄養士が中心となり「その方が望まれる食事」を実現することを目指した取り組みを紹介します。				
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	アザレアンさなだ	長野県		
		「食」から支える私達の思い				
		ご利用者・多職種から「食」に求められた声に応じ、安全な食事、おいしく、楽しく、食べやすく提供することを踏まえ実現させるために栄養士・厨房スタッフが行った今迄の取り組みや成果、今後の希望を発表します。				
14:05～14:20		休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(既存)	おおみや苑	京都府		
		「昔してきたこと、今でもできること、 あり がとうと言ってもらえること」をめざして				
		「昔してきたこと、今でもできること、ありがとうと言ってもらえること」を目指して手作りバイキングに挑戦したことを発表します。				
14:45～15:10	⑦	老健	ジョイフル名駅	愛知県		
		水分摂取量1日1000cc以上を目指して				
		新規施設立ち上げにより新人介護職員が全体の多数を占める中でケアを実施していた。施設運営方針の「利用者様の心が元気になるサービスを提供する」を達成する為、現状の課題である水分摂取の増加を目指した取り組み。				
15:10～15:35	⑧	特養(新型)	神の園	京都府		
		誰にとっても「おいしい！」と感じられる食事への取り組み				
		食事を目の前で盛り付ける事から様々な食への要望を伺えるようになりました。どんな状態であっても「美味しいごはんって何だろう？」を考え、見て美味しい、匂って美味しい、食べて美味しいへの取り組みを報告します。				
15:35～16:00	⑨	地域密着型特養	ほほえみ	兵庫県		
		ご利用者に合った朝食時間を目指して				
		当施設では、開設よりユニット調理に取り組んでいますが、朝食時間の個別対応は出来ていませんでした。今回、ご利用者の起床時間や意向から、朝食時間の見直しを行い、個別化に向けた取り組みを発表します。				

第4部門 これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

神戸学院大学 11号館2階 112A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(既存)	洛和ヴィラ桃山	京都府	
		心ときめくあの時と一緒に ～施設で味わえる本格喫茶を目指して～			
		介護度の重度化により現在外出の機会が減少している。施設にいながらくつろぎ、気分転換となる環境「ロマン喫茶桃山」がオープン。利用者・職員の手作りを大切とし、準備・営業までの取り組みについて発表する。			
12:25～12:50	②	地域密着型特養	結いの郷	愛知県	
		「おじゃまします」			
		施設ではなく、老人ホームでもない、お年寄りがご自分の家だと感じて、穏やかに暮らしてもらうための環境作りへの取り組み。			
12:50～13:15	③	小規模特養	大宮フロイデドルフ	茨城県	
		その人らしさに寄り添うケア～言葉とは裏腹な本心を見つめて～			
		認知症による妄想から、不穏になることの多いH様。穏やかな生活とH様の自己実現を目指し、パーソン・センタード・ケアに取り組んだ事例を発表します。			
13:15～13:40	④	老健	リハビリゾート青葉	神奈川県	
		従来型でも取り組めるユニットケア			
		限られたハード面でも工夫したユニットケアの実践。それを実践していくための所属スタッフの意識改革。			
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	ほほえみ福寿の家	岐阜県	
		気ままに暮らせる住まいを目指して			
		入居者ひとり一人に寄り添い、その人らしい暮らし、居心地が良いと思える環境作りとともに職員の意識の変化。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府	
		大好きなS様を想い、私なりに取り組んだケア			
		Sさんというお客様がゆうちゃんという人形を大事にされています。ゆうちゃんを通してのSさんへのケア・考えたこと、思ったこと。取り組みを発表。			
14:45～15:10	⑦	グループホーム	ひろいしの里	兵庫県	
		その人らしく地域の一員として暮らし続けるために			
		“その人らしさ”を大切にしたグループホームでの取り組みを通して地域交流を振り返る。			
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	きのこ荘	岡山県	
		想いを知りたい			
		「歩きたい」始めは言葉通り受け取っていたけれど本当に歩くことだけがHさんの望みなのだろうか？自分の気持ちを強く主張することの少ないHさんの気持ちを知りたいと思い、Hさんと向き合っていく過程を報告する。			
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	西ノ京苑・栄寿	奈良県	
		その人らしさを追求した、生活を戻す			
		お年寄りと生活を共にする中で新たな気づきや発見、失敗を通しての学びをどう展開してお年寄りの生活を戻していくか。			
16:00～16:25	⑩	特養(既存)	防府あかり園	山口県	
		深く関われるようになって変化した入居者の生活			
		以前は多床室だったが、改築により、個室へと引っ越した。小規模ユニットになり、以前よりも入居者により深く関われるようになったので、関わりによる入居者の生活の変化を事例を挙げて説明していく。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	ひかりの園	熊本県	
		お年寄りが帰れるふるさとである為に			
		現在、入居者の故郷が疲弊し、家族も故郷を離れ、帰れる家、場所が無くなってきている。そのような中で、入居者が帰れる故郷であり続ける為に、地域に出して施設ケアとして、地域で子供夏まつりを開催支援しました。			
17:05～17:30	⑫	賃貸集合住宅	L-CUB八山田	福島県	
		おもてなしの心を忘れずに～L-CUB八山田の取り組み			
		L-CUB八山田が開設し7年を迎えました。私達は、入居者様が安心して生活することができる、入居者様やお客様に満足して頂ける「おもてなし」の心で取り組んでいるサービスについて。			

第4部門 これまでの暮らしの継続をたいせつにした生活環境づくり

神戸学院大学 11号館2階 112C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ	
		発表テーマ				
		発表の概要				
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	たぶのき	福井県		
		限りなく「家」に近づける為に ～完全ユニット調理の実現～				
		当施設は平成25年4月に開設しました。施設に入るのではなく、「新たな家に引っ越す」という事を意識した設計や内装にしました。限りなく「家」に近づけた生活環境の中で繰り広げられる完全ユニット調理と生活支援を報告します。				
14:45～15:10	⑦	病院	三豊市立西香川病院 重度認知症患者デイケア『グードリブ』	香川県		
		北の国から・・第二の人生を香川で暮らす				
		北海道の一軒家を売り払い香川県に移住してきたAさん、「現在の地域で暮らす」をテーマに、地域との交流や外に出ていく機会を増やすことで見えてきたAさん自身の変化や気づきを報告する。				
15:10～15:35	⑧	老健	鴻池荘サテライト蜻蛉	奈良県		
		主体的な生活に向けた環境支援				
		施設のコンセプト「主体性支援」「個別性のあるケア」「在宅復帰」「地域連携」に添った環境の指針を作成し、利用者が、生活の継続性を保ちつつ自立した生活を送ることができるように環境面から、支援をおこなった結果を発表します。				
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	ひかりの園	熊本県		
		ユニットで暮らすこと				
		入居者の“普段の暮らし”を考える。 「私たち職員が入居者の出来る事や機会を取り上げていたんだな。」				
16:00～16:25	⑩	特養・養護	五十鈴荘、いちがお園、丹後園、第一丹後園、洞寿園(食護、特養)、虹ヶ丘、おるや荘	京都府		
		ユニットin北京都 平成25年度 8施設の相互評価の取り組みから				
		8施設で毎月定例会をもち、情報交換と研修を重ねています。今年度は、相互評価の議題で取り組んできました。その中で、他施設のアピールポイントを自施設に生かし、よりよいケアに繋がった事を発表します。				
16:25～16:40		休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	上士幌すずらん荘	北海道		
		ぬりえが好きって本当？				
		Nさんが認知症になりBPSDが深くなった時、私達はどのような対応をすれば良いのか。落ち着いていただく為には何が必要なのかを発表します。				
17:05～17:30	⑫	特養(新型)	ぬくもりの里 あおえ	岡山県		
		全盲の障害がある新入居者様との関わり～職員の連携による生活支援～				
		全盲の入居者様が今年の2月に入居され、これまでの生活環境をふまえて、御本人様にとって、ぬくもりの里あおえでの生活が安心・充実したものになるように支援させて頂いた取り組みについて。				

第5部門 介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

神戸学院大学 15号館1階 151M講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(新型)	フラワーホーム	鹿児島県	
		我がへもどろごちや(我が家に戻りたい)			
		長年ショートステイを利用し、現在は特養での暮らしを支えながら、「家に帰りたい」との想いを家族と共に関わり続けている、事例の報告。			
12:25～12:50	②	病院	三豊市立西香川病院 認知症疾患医療センター	香川県	
		家族と協働し認知症の人を支える支援のあり方とは			
		認知症において、家族支援の分野は必ずしも十分に組み込まれているとは言えない現状がある。認知症疾患医療センターとして、専門職が如何に連携し、どう家族に介入すべきかを考えたい。			
12:50～13:15	③	地域密着型特養	ジョイフル砂田橋	愛知県	
		家族と共にあるイベントを			
		施設にいても、家族と過ごす時間を大切にしたいという職員の想いから、共に生き生きと過ごそうと目指してきた取り組みを発表させて頂く。			
13:15～13:40	④	特養(新型)	神の園	京都府	
		願いに耳を傾け、家族と一緒に叶えた短時間帰省			
		50代だが、難病で次第に体力が低下しているAさん。食べられなくても人としての喜びを持って生きて欲しいという妹さんの願いにどう応えるのか。要望を伺い、自宅への短時間帰省に繋がっていった過程を報告します。			
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	聖家族の家	福岡県	
		フィール・タッチ実践報告Vol4 ～ご家族と共に～			
		当施設オリジナルのリハビリテーション・ケア「フィール・タッチ」を、ご家族にも参加して頂き、“家族と共に行うふれあうケア”を試みました。①ご家族へのフィール・タッチ説明会。②ご家族で行うフィール・タッチ。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	小規模特養	大宮フロイデドルフ	茨城県	
		環境がHさんを変えた ～家族を感じる安心感～			
		水分嫌いなHさんが家族(職員)がいる施設に入所したことにより精神面・食事・水分に変化が出てきた事例について発表します。			
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	大地の丘	愛知県	
		家族を巻き込み、暮らしを作る			
		家族を巻きこんで行う、誕生日支援、そしてユニット支援費の取り組みにおいて変化したお年寄り、支援員、家族の様子を発表します。			
15:10～15:35	⑧	老健	ウエル青葉	滋賀県	
		夫婦で暮らすために私たちができること ～在宅復帰とは～			
		対象者の事例を通して在宅復帰に向けた施設での援助について考える。			
15:35～16:00	⑨	老健	洛和ヴィライリオス	京都府	
		一緒に外へ行こう！日楽しい外出で更なる満足度向上を目指す～			
		当施設では、行事での散歩を行っているがアンケートで「外出する機会が少ない」との意見が上がった。要因として、利用者の体力や体調、外出行事の認知度の低さがある。今回、楽しい外出にし満足度向上を目指した。			
16:00～16:25	⑩	地域密着型特養	片貝ヴィーラ	富山県	
		家族の協力で帰宅願望や不穏が改善し106歳の笑顔が再び輝く			
		4世代8人家族で暮らす105歳の女性、徘徊や大声がひどくなり、特養へ入所された。大好きな家族との別れでより一層不穏となられ笑顔も消えてしまったが、家族との協働で、穏やかな生活を取り戻すことができた。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	博愛の園	大阪府	
		お～宝塚			
		過去に「お年寄りの里帰り」を実現できずに後悔したことから、介護職から相談員に立場が変わって「今しかできないこと」を「今やる」と気持ちに変化がみられた。			
17:05～17:30	⑫	特養(既存)	高寿園	大阪府	
		もう一度、「自分の家」で楽しい時間を！			
		現在94歳の女性が50歳代の頃に建てた一軒家。「施設に入っても母が生きている間はこの家を大切に守ります。」というご家族の思いに支えられ、素敵なケアプランを実践しています。			

第5部門 介護者家族との協働で実現する、その人らしい暮らし方

神戸学院大学 15号館1階 151I講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
16:40～17:05	⑪	特養(新型)	たじま荘	兵庫県	
		笑顔が生まれる支援を～家族との繋がりを大切に～			
		サービス計画書を考えるカンファレンスの際には、家族にも参加を呼びかけ、一緒に考えられるように取り組んでいます。家族との繋がりの中で生まれた目標や支援について良かったと思われる実例を上げて考えていきます。			
17:05～17:30	⑫	特養(新型)	洛和ヴィラ南麻布	東京都	
		おでかけを楽しむ ～家族と過ごす時間を大切に～			
		特養に入っても、いくつになっても、毎日楽しく輝いている102歳。今も子供たちと旅行や観光を楽しむ生活を支え、その方の生き方を大切にした取り組みについて発表する。			

第6部門 ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

神戸学院大学 15号館1階 151I講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(新型)	ビハーラ十条	京都府	
		お客様にとっての最期の場とは			
		ユニットでターミナルケアを3度経験させていただきました。お客様はそれぞれ違った最期を迎えられました。その中で、考えたこと、思ったこと。			
12:25～12:50	②	地域密着型特養	第二鹿児の郷	兵庫県	
		在宅での看取りを通して			
		看取りの状態となりご家族と相談した結果、本人の希望もあり、自宅に帰っていただく事になった。施設での看取りは経験したことがあったが、在宅の看取りにおいて施設職員として、どの様に関わることができたのか？			
12:50～13:15	③	ケアハウス(介護付き)	ありすの杜きのこ南麻布	東京都	
		Oさんと過ごした日々			
		Oさんをユニットで看取りました。Oさんらしく生きぬくお手伝いができたのか、Oさんの思いに応えることができたのか、Oさんと過ごした日々から学んだことを発表します。			
13:15～13:40	④	地域密着型特養	いやさか苑	兵庫県	
		地域密着型小規模特養の看取りの実践④特別養護老人ホームいやさか苑の取り組みを通して～			
		高い介護度の高齢者の生活の場として求められている地域密着型特養。いきいきと生き抜くため、本人支援する施設の現状からみえた役割や課題を報告する。			
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	五色・サルビアホール	兵庫県	
		その人らしい生活を最期まで～Tさんに寄り添った4年間～			
		看取りケアは決して利用者の人生の終りに向かう援助をしているのではない。最期まで「生きる」ことに“伴走”する気持ちが重要です。その人らしさを蘇らせ、その人らしく最期を迎え、旅立ったTさんと関わった4年間の事例を通じて「看取り」に重要なことは何かを考えていきたいと思ひます。			
14:05～14:20		休 憩			
14:20～14:45	⑥	特養(新型)	グレイスフル熱田	愛知県	
		スピリチュアル回想法を通じて、新しいターミナルが開く！！			
		スピリチュアル回想法を実施していく中で、利用者様同士が「生老病死」について語り合った。利用者様の1人が亡くなることをきっかけに、ターミナルケアのあり方について今までとは違う気持ちがスタッフの中で起った。			
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	御前山フロイデガルテン	茨城県	
		終末期としてフロイデガルテンに入所されたK様とのかかわり			
		終末期としてフロイデガルデンに入所されたK様が最終的に終末期を脱したまでの介護職・看護職及び栄養士、そしてご家族様のかかわりについて入所から現在に至るまでを発表します。			
15:10～15:35	⑧	特養(新型)	エバーグリーン	岐阜県	
		終末期ケアから学び、そして今後活かすためには			
		私達のユニットでは、3名のご利用者の終末期ケアを同時期に経験し、それぞれのご利用者の想いに沿ったケアが行えていたのか、ご利用者やご家族との関わりの中で学んだことや、今後の課題について報告する。			
15:35～16:00	⑨	特養(既存)	博愛の園	大阪府	
		家族のつながり			
		Nさんのターミナルケアを通して、家族のつながり、不安、おり合い、たくさんの場面がありました。ワーカー達も同様、葛藤があり悩む日々、看取りを行い感じれた事、そして今後、私達は何を实践していけばいいかを発表したいと思ひます。			

第6部門 ターミナルケアから学んだこと、考えたこと、伝えたいこと

神戸学院大学 15号館1階 151J講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	地域密着型特養	さわの風	滋賀県	
		初めて立ち会った人の死～開設から2年の取り組み～			
		平成23年8月に開設して現在まで8名の方の看取りを行ってきました。開設と同時介護を始めた新人職員の視点から、人の死に触れて考えたこと、感じたことを綴ります。			
12:25～12:50	②	特養(新型)	いこいの杜	鳥取県	
		“家族の揺れる想いを受け止めて”～K様のターミナルケア～			
		開設当初よりいこいの杜では最期の時まで日常生活を支援する場であり、終の棲家としてターミナルケアに取り組んでおり、今回発表する事例には、様々な看取りがある中で、今年の4月にターミナルケアを行ったK様のご家族の揺れる思いに対するケースをまとめたもの。			
12:50～13:15	③	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		私らしく生きてます・・・。			
		人生の最期を「Aさんらしく生きる」ための支援とは、Aさんが住み慣れた生活環境の提供とAさんと家族の方が“家族”であると感じ合う支援だった。その支援のプロセスを紹介する。			
13:15～13:40	④	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県	
		看取りケアとグリーフケアの実施			
		和里(にこり)では開設から現在まで13件の看取りを行ってきた。しかし、死別期におけるグリーフケアは行われていないのが現状である。和里(にこり)では初の試みだったが、共に悲しみを分かち合うことで、ご家族の悲しみを少しでも和らげたい。また、これまでA様が和里(にこり)で過ごした約半年間、「私たちのかかわりはこれでよかったのか？」評価をいただくことにより、次の看取りケアにつなげていきたい。この様な思いからグリーフケアの実施に至る。			
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	健生園	岡山県	
		命の大切さ(重さ)≥そのひとらしさ			
		健生園では平成21年2月から看取りケアより遠ざかっていた。施設の方針でもある「個別ケアの追及」を目指すまで重要な支援でもある看取りを行う為取り組みを開始した。その中で3つの事例から気づき学んだ事を報告させて頂く。			
14:05～14:20		休 憩			
14:20～14:45	⑥	特養(既存)	フランセーズ悠さかえ	長野県	
		「あなたから学んだこと」Y様、これで良かったのですか？			
		病院からガンコなY様が入所したきた。日頃の関わりの中、心が通ってきた頃、Y様がターミナルに… その時、職員・家族は。			
14:45～15:10	⑦	特養(既存)	上士幌すずらん荘	北海道	
		ありのままを受け入れて～最期までその人らしく～			
		終末期になった時に私達はどのような事に気をつけたり、考えたりしなければならないのかNさんを通して行った事を発表します。			
15:10～15:35	⑧	特養(既存)	健生園	岡山県	
		最期の時まで			
		私のユニットでは今年2名の方の看取りを行った。その中であらためて気付かされた事や大切なものが見えてきた。それについて報告する。			

第7部門 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

神戸学院大学 11号館4階 114B講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(既存)	第三光が丘ハウス	福井県	
		人生の最期を送る場所として～Kさんの想いに応えて～			
		糖尿病合併症による失明。その後何事にも消極的だったKさんが当施設で人生最期まで過ごす決めてからの本人の想いと職員の取り組みについて。			
12:25～12:50	②	特養(既存)	ぬく森	愛知県	
		I様にとって、よりよい環境づくりを行う為の職員同士の連携			
		ショート利用から入所され、入所当初自己にて行えていたことが現在、徐々に行えなくなりつつある。そのなかでI様の思いや状態に対して、職員がどのように支援をしているのか。病気が進行していくなかで、職員と他職種との連携。			
12:50～13:15	③	特養(新型)	ぽぷら	滋賀県	
		ショートステイにおける外出支援の実践「行ってみたいを叶えるために」			
		ショートステイを利用されている方のQOLの向上を目的に24回の日帰り旅行(年1回の一泊旅行)の実践と取り組みの紹介。			
13:15～13:40	④	特養(既存)	北勝園	茨城県	
		M様の笑顔がみたい。チームアプローチ！！			
		昨年夏頃より居室で過ごされ、食事量も低下されてしまった。入居者様へのユニット職員、各職種によるチームアプローチを発表します。			
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	エバーグリーン	岐阜県	
		笑顔が見たくて			
		身体・精神的な疾病により、昼夜とわず身体の痛み・倦怠感があり「死にたい」と発する事の多いT様。少しでも痛みの緩和を図り、T様らしい笑顔を取り戻せる様、多職種と連携を図り、ケアした過程と気づきを発表する。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	地域密着型特養	五色・サルビアホール	兵庫県	
		あきらめない介護！！～チームで支える重度利用者の生活とは～			
		加齢により、ADLが低下し、寝たきりになっている利用者様が諦めてきたことを、センター方式やひもときシートをツールとして、チームで生活を見つめ直した。			
14:45～15:10	⑦	デイサービス	寿光荘	岩手県	
		笑顔と共に生きたい～それぞれの想いから始まるあなたとの輪～			
		過去の体験から得た想いが、今も自分の中に生きている。お年寄り一人一人の今の願いを、今叶えたい。その一つ一つの願いを叶えるために、できる事は何か。笑顔への輪。			
15:10～15:35	⑧	老健	洛和ヴィラサラサ	東京都	
		在宅での規則正しい生活を目指して～パーキンソン病と向き合った生活～			
		自宅にて食事、薬を摂ったり、摂れなかったりと、きままな生活を送っていたが、在宅での生活をご家族が困難と判断し、リハビリを兼ねて老健の入所へ至る。在宅へ戻り、規則正しい生活が継続して送れるよう支援に取り組んだ。			
15:35～16:00	⑨	病院	三豊市立西香川病院	香川県	
		真のニーズとは？？？			
		夕方になるにつれて「めまいがする」「帰りたい」と訴えのあるAさん。「ひもときシート」を使用し、Aさんのニーズを追求し、そこからの取り組みを通して学んだことを報告する。			
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	第2ジョイフル江南	愛知県	
		利用者様が楽しく過ごせるショートステイを目指して			
		「また来たい」と思って頂けるようなショートステイにする為に何が必要なのか…？利用者様からの声を反映し、楽しく充実した時間を過ごして頂く為の取り組みについて報告します。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	サンビレッジ新生苑	岐阜県	
		高次脳機能障害を持つOさんとの関わりから学んだこと			
		60代で脳出血を患い、わずか半年あまりで生活の場である特養へ入所。今までのどのケースにも当てはまりにくい、本人の言動や行動を失敗をくり返しながらひもといていった事例を紹介する。			
17:05～17:30	⑫	特養(新型)	第2ジョイフル江南	愛知県	
		個別口腔ケア～口腔ケアで健康な毎日を～			
		外部の研修にて口腔ケアが清潔保持だけでなく誤嚥性肺炎や口臭の改善が出来る重要なケアであることを改めて理解した。口腔内のアセスメントや、用品の選定・適切な使用方法をマニュアル化し、取り組んだ事を報告する。			

第7部門 一人ひとりの暮らしを支えるためのチームケアや多職種との連携

神戸学院大学 11号館4階 114C講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(既存)	博愛の園	大阪府	
		暮らしの中のレクリエーション			
		どこか行こう！！歌をうたおう！！体操しよう！！何か作って食べよう！！次々と「皆で楽しめることをしていこう」とユニットでやってきたことを発表します。			
12:25～12:50	②	老健	洛和ヴィラアエル	京都府	
		訪問歯科と連携をはかった口腔ケアへの取り組み			
		訪問歯科による口腔ケアが実施されている。歯科衛生士からのケアの助言があるものの職員の口腔ケアへの認識が希薄であり、毎回同じ助言であった。職員と訪問歯科と連携を図りケアに取り組んだ結果と課題を報告する。			
12:50～13:15	③	地域密着型介護老人福祉施設	エレガンテたつるはま	石川県	
		その人らしい生活とは？			
		介助者中心になりがちな視点から、「パーソン・センタード・ケア」の視点に立ち、ひもときシートをツールとして活用し、チームケアを行った活動について報告します。			
13:15～13:40	④	老健	伊賀ゆめが丘	三重県	
		職種間のチームワークにより施設生活が改善された一事例			
		居室に閉じこもりがちでかわりをもたない入居者に対し、個性が生かせるようケアを工夫する中で、人と人とのつながりを見直し信頼関係を深め、温かなユニットへ近づけた事例。			
13:40～14:05	⑤	特養(既存)	野田の郷	鹿児島県	
		様々な行動から見えてきた本人さんの思いをかたちに			
		様々な認知症の症状があり職員一人一人が接し方が分からず対応に困っていました。関わっていくなかで本人さんの本当の思いをチーム全体で見い出し、共有し、少しずつ以前の暮らしに近づいてきました。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(既存)	いちがお園	京都府	
		「あんたなんかいらんわ」からの関係づくり			
		入所され、様々な訴えをされるIさん。バタバタと動き回る職員に増々訴えが多くなり…。介護士、看護師、相談員、デイサービス、家族、たくさんの人が協力し、ご本人の気持ちに寄り添い生活を支えました。			
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	清洲の里	愛知県	
		経口摂取を維持するための取り組み			
		誤嚥による発熱を繰り返す入居者に対して、多職種連携によって口腔および嚥下機能を評価することで支援した事例。各職種の口腔ケアおよび食形態支援と訪問歯科診療などの連動で効果的な結果を得た。			
15:10～15:35	⑧	病院	三豊市立西香川病院 重度認知症患者デイケア『グードリブ』	香川県	
		グーグースマイルの皆さんへ			
		地元公民館の活動を通じて、認知症デイケアを利用される方と、地域の方、ボランティアの方とが交流し、また、認知症の理解を伺す取り組みについて報告する。			
15:35～16:00	⑨	特養(既存)	上士幌すずらん荘	北海道	
		頑張ったSさんにカンパイ！！			
		廃用症候群になり生きる気力を失っていたSさんにもう一度人生の楽しみを味わっていただきたいと取り組んだ経過を発表します。			
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	和里(にこり)	奈良県	
		医療行為と非医療行為について当事業所職員の意識調査			
		看護師・介護職員の人員不足などのため、介護職員による喀痰吸引・経管栄養が実施されている施設も多くある。現在、施設や在宅でも介護の現場には、医療が必要な高齢者が多く、介護提供を行うにあたり、医療知識が必要とされ、その知識がないと適切な介護を行う事が出来ない事も多い。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(新型)	神の園	京都府	
		わかりやすいケアプランが作りたい			
		関わる職員がその人らしい暮らしを知ろうとするようになりました。しかし、ケアプランは難しい言葉が並び、読んでいても暮らしが見える内容とは程遠い…。			
17:05～17:30	⑫	特養(新型)	笑寿苑	島根県	
		まめな家スマイルプロジェクト～笑顔につなげる魔法の言葉～			
		多職種との連携や職員同士の関係を良くする事で、入居者一人一人が笑顔で生活して頂く為に一年間の取り組みを報告します。			

第8部門 リーダーや管理者、その悩みと改革への取り組み
神戸学院大学 11号館3階 113A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
16:40～17:05	⑪	特養(新型)	扇の森 / 扇の森WEST	埼玉県	
		ベテラン主任と新米主任の奮闘記			
		既存のハードを持つ特養のベテラン主任。そして、法人の新規事業に伴い生まれたユニット型特養の新米主任。環境の違いはあるものの、見えてきた「要」としての役割と、共通して効果の出た取り組みについて発表する。			

第9部門 ユニットケアを支えるスタッフの育成、工夫したこと、苦労したこと

神戸学院大学 11号館4階 114A講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
12:00～12:25	①	特養(新型)	ジョイフル名駅	愛知県	
		風通しの良いフロア作り～新人職員の悩み～不安解消を目指して～			
		ユニットリーダー以外新人職員となっており開設前より利用者のケア・業務に関する悩み・不安を抱えていた。新人職員が抱える悩み・不安を解消できれば、良い環境が作れるのではないかと考え取り組みを開始した。			
12:25～12:50	②	特養(既存)	千鳥会ゴールド	兵庫県	
		スキルツリー ～ここから始まる第一歩～			
		「利用者・職員が楽しく過ごせること」を目標に介護技術向上に取り組んでいます。習得した知識・技術はどうすれば介護の現場に浸透し活用できるのか、その経過を報告します。			
12:50～13:15	③	特養(新型)	第2ジョイフル江南	愛知県	
		いつ拾うの？今でしょ！～信頼しあえる関係に～			
		業務に追われ、利用者様と向き合う時間が少なくなっていました。その方らしい生活の支援を行っていく為にどうしたらいいか、つぶやきの意味や重要性を見直す取り組みを行いました。			
13:15～13:40	④	特養(既存)	博愛の園	大阪府	
		人を思いやる心を育てる			
		「ケアする人のケア」という考え方からパーソンセンタードケアを用い人を思いやる心を再確認しケアに生かしていく過程を発表する。			
13:40～14:05	⑤	特養(新型)	ジョイフル千種	愛知県	
		良い事探し～働きやすい環境に！～			
		職員の良い所、できている所を探し、ほめ合うことでモチベーションを上げて働きやすい環境をつくり、今働いている職員の離職をくい止めたい。			
14:05～14:20	休 憩				
14:20～14:45	⑥	特養(既存)	西ノ京苑・栄寿	奈良県	
		自分自身の意識・改革から見えた事・変化した事			
		フロアを職員固定にすることにより、1人1人のお年寄りとの関わりが深まった。お年寄りや職員と向き合う事で見えてきた職員の意識とお年寄りの生活の変化とは。			
14:45～15:10	⑦	特養(新型)	グレイスフル熱田	愛知県	
		先々を見据えた介護サービス～ノーリフトポリシーのあり方～			
		利用者様の個別、自立支援の在り方を考え、実施した結果、職員の身体的負担が増していた。そこで、危険や苦痛を伴う、人力のみの移動をやめたことによって起こった。職員の様々な葛藤と定着までに至った内容の報告。			
15:10～15:35	⑧	特養(新型)	ジョイフル名駅	愛知県	
		意識改革・印象付け ～理想を理想で終わらせない、まず一歩～			
		ショートステイホームとして新規開設し理想を「くつろぎある別荘」と決めた。しかし一般職員間で理想を追い求めることに焦り、解決する術を見つけられずにいた。「理想」から「実現」に変化した歩みを発表させて頂く。			
15:35～16:00	⑨	特養(新型)	第2サンライフ江南	愛知県	
		新人育成と新人育成を活用した指導者育成			
		新人職員の育成の一環として、基本技術の評価や定期的な面談を実施している。そこに指導者側の育成についても工夫をしたみた。その取り組みについて報告する。			
16:00～16:25	⑩	特養(新型)	HOME TOWN コスモス	福井県	
		新人職員の不安を少しでも減らすために～夜間緊急時の対応～			
		職員対象で行ったアンケートから、「夜勤時での緊急対応が不安である」という課題を軽減する為に、取り組んだ研修内容を発表する。			
16:25～16:40	休 憩				
16:40～17:05	⑪	特養(新型)	ジョイフル千種	愛知県	
		「今夜の夜勤は誰？」曰個別ケアマニュアルが安心した暮らしの継続へ～			
		毎日の同じ介護場面であっても、違う職員が介助することで、ケアのバラつきや過剰なケアが起こってしまっていた。「ケアカード」という個別ケアマニュアルと24時間シートを連動させることで、どの職員が介助しても同じ対応ができ、利用者の安心した暮らしの継続に繋がった。			
17:05～17:30	⑫	老健	中部台ケアセンター	岐阜県	
		幸せを見つけるユニットケア～ユニット間の連携で築けたこと～			
		当施設は1階から3階まで各フロア2つのユニットで構成している。ニーズの異なるユニットを対象に互いを補うよう体制を整えた。それにより利用者様へのサービスの向上、職員のスキルアップにつながった為、報告する。			
17:30～17:55	⑬	特養(新型)	ジョイフル各務原	岐阜県	
		楽しく働き、笑顔で暮らす			
		「働きやすい職場環境」「職員の満足度向上」を達成できるようにユニットの業務の見直し、職員育成、利用者の暮らしについて取り組んだ。			

第10部門 災害に備える・取り組むー施設の姿勢や地域との関わり方

神戸学院大学 11号館3階 1130講義室

時 間	発表 順番	種別	施設名	都道府県	ペ ー ジ
		発表テーマ			
		発表の概要			
16:40～17:05	⑪	特養(既存)	松楽苑	島根県	
		災害に備えた防災教育と地域の関わり			
		利用者の安全な生活環境を提供出来るよう施設内で行っている防災への取り組みと地域との連携の様子等を報告する。			